

【飲酒運転らしい車両を発見・追跡し検挙につながった事例】

ある日の午後、コンビニエンスストアに立ち寄った時のことでした。

店内にいますと、レジの方向から「お客さんには売れません。」という声が聞こえたので、「何だろう。」と振り返ると、レジの前に男性がおり、店員から、酔っ払っていることを理由に酒の販売を断られているようでした。

その後、先に私が店から出て、車に乗り込んだところ、男性が店から出てきて、駐車場に止めていた軽トラックに乗り込みました。

私は、この時点では、男性が飲酒していることにまだ確信があったわけではなく、「飲んだらんかいな。」と思いながら見ておりました。

そのうち、軽トラックが走り出しましたが、たまたま、私が向かおうとしていた方向と同じ方向に向かいましたので、私も後をつけることにしました。

出発した直後は、先程も申し上げたとおり、男性が飲酒運転かどうかの確信はありませんでしたが、軽トラックの動きを後ろから見ていると、明らかに車が蛇行しており、とても危ない様子で、飲酒運転に違いないと感じました。

しばらく蛇行を繰り返しながら走り、信号交差点に差し掛かった際、その車は、信号停車中の車に追突し、一度止まった後、そのまま走り続けました。

私は、直ぐに警察に通報し、そのまま追跡を続けると、その車は、民家の敷地に入って停車しましたので、私も車から降りて警察にそのことを連絡するとともに、車の様子を見に行きました。

男性は車の近くで眠り込んでおり、しばらくしてパトカーがやってきて、男性を連れて行きました。

今回、飲酒運転を目の当たりにしたわけですが、

昼間の出来事であり、あと一時間もしていたら、通学の子供たちがひかれていたかも知れないと思うと、許せない。

飲酒運転は、人に迷惑をかけるし、自分の人生も棒に振る。

と、本当に思います。

今後も、もし飲酒運転を見かけたら、直ぐに通報したいと考えています。